



雨から家を守る外壁の防水

WATER BLOCK SYSTEM

田島ウォーターブロックシステム



「雨から家を守る外壁の防水」
田島ウォーターブロックシステム動画は
こちらの QR コードより視聴可能です



雨漏り事故のほとんどが、外壁からです。

壁からの雨漏り

“雨漏り”というときすぐ屋根からと思われがちですが、実は想像以上に壁面からが多く、日本住宅保証検査機構 (JIO) によると、保険事故発生部位の割合は屋根の14.9%に対し、壁は全体の84.5%を占めていました。

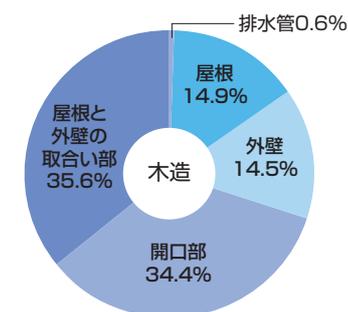
従来、外壁の防水にはアスファルトフェルトや透湿防水シートが使用されてきましたが、軒の出が小さくなるなど建物形状が変わってきたことや、出入隅など複雑な部位が増えてきたことで、単にシート状の材料を張るだけでは雨水の浸入をくい止めることが難しくなっています。

壁からの雨漏りは、特に屋根と外壁の取合い部・開口部まわりからの浸入が多く確認されており、この部分の処理が非常に重要となります。

トータルシステムで雨を防ぐ

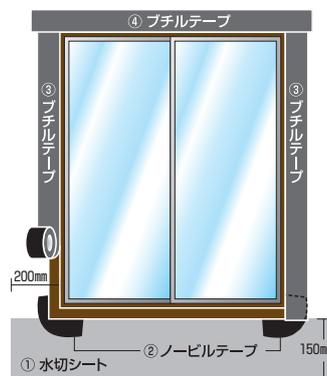
外壁の特に開口部まわりでは、下張材のみでは十分に雨を防ぎきれないので、防水テープや増張りシートなどの副資材を組み合わせて、対応することをお勧めします。この場合、適正な材料で、使用順も含めて正しく施工することが大切です。施工を誤るとかえって雨水を呼び込むようなことにもなりかねませんので注意が必要です。

雨水の浸入を防止する部分
かし保険事故発生部位の割合
(2008年12月～2020年6月末までの累計)



【出典】
防水施工マニュアル(住宅用防水施工技术)2021
編集:日本住宅保証検査機構(JIO)
監修:石川廣三
発行:技報堂出版株式会社

【工事手順(②-③の間にサッシを取付)】



ベランダ笠木の 取合い部

屋根・外壁の 取合い部

開口部・サッシまわりの 取合い部



望まれるのは、たしかな 防水材料と正しい施工手順です。



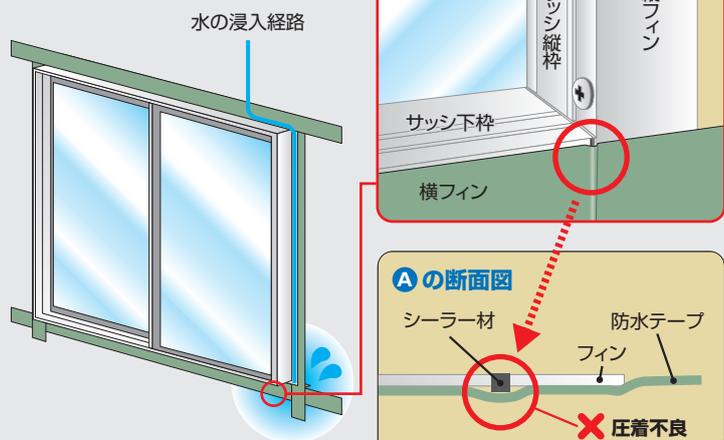
開口部・サッシまわり
取合い部の雨仕舞



窓などの開口部では、壁との取合い部分からの雨水が枠を伝わって上から下に流れ、開口部枠の下側から下張材の内側に浸入しやすくなります。そのため、雨水を切れる納まりにする必要があります。また、下張材のように面に覆うタイプの材料ですと、どうしても隅角部に覆いきれない部分(ピンホール)が生じてしまいます。そこで、伸張性のある材料で、ピンホールを塞ぐことが必要になります。

開口部・サッシまわり 施工例

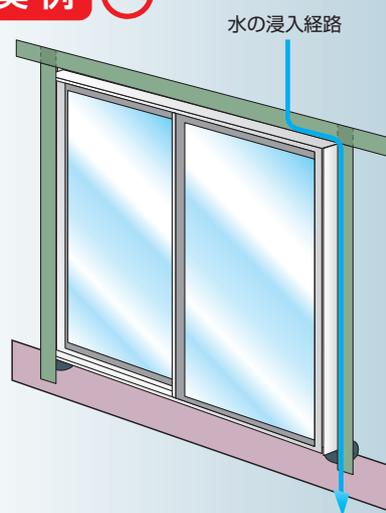
雨漏り例 ×



サッシの縦フィンと横フィンの接合部に不陸があり、防水テープに浮きや隙間が生じることがあります。

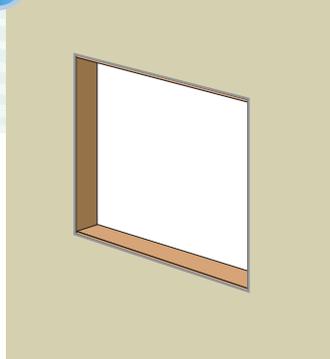
！ 水を切らずに受けている納まりのため、防水テープの浮きや隙間から浸入しやすい。

推奨例 ○

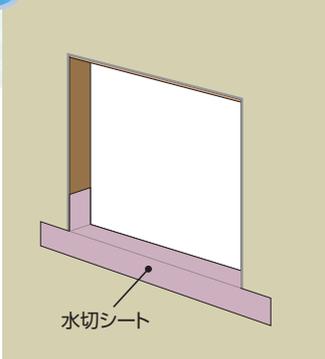


！ 躯体側に浸入させない水を切ることでできる納まりにする必要があります。

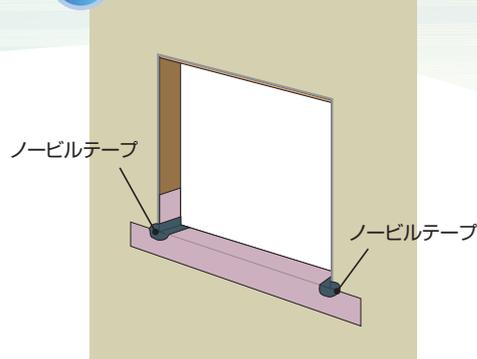
1 開口部



2 水切シートの施工



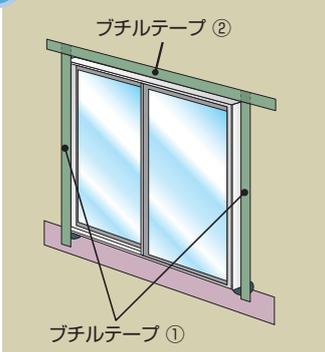
3 ノービルテープの施工



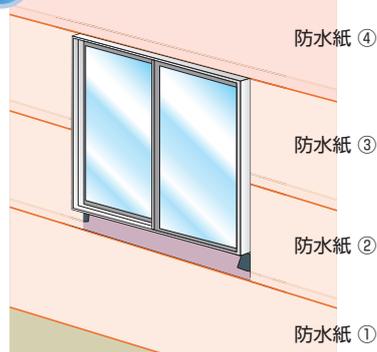
4 サッシの取り付け



5 防水テープの施工



6 防水紙の施工



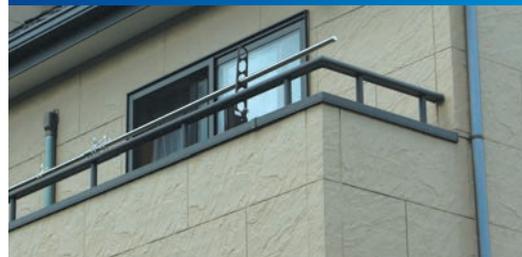
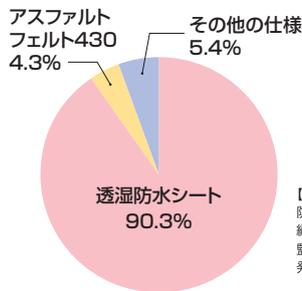
求められるのは、防水シートのすぐれた釘穴シール性です。

ベランダ笠木 取合い部の雨仕舞

風で笠木と外壁との隙間から雨水が入り込む場合があります。ベランダ壁の天端は水勾配がほとんどないため、一時的に雨水が滞留して雨漏りの原因になります。そこで、釘穴まわりの止水性に優れた材料が必要となります。

日本住宅保証検査機構(JIO)によると、手すり壁・パラペット上端部より雨水が浸入した保険事故発生物件(外壁通気構法)の上端部の防水紙の種類は、「透湿防水シート」が90.3%、「アスファルトフェルト430」が4.3%を占めます。外壁用の防水紙を上端部に張ってはいけません。

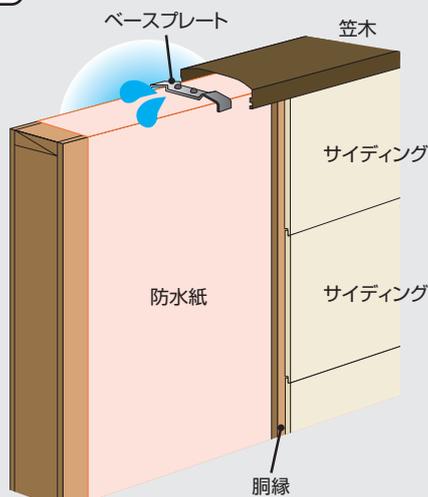
上端部より雨水が浸入した物件の上端部の防水紙の種類
(2008年12月～2020年6月末までの累計)



【出典】
防水施工マニュアル(住宅用防水施工技術)2021
編集:日本住宅保証検査機構(JIO)
監修:石川廣三
発行:技報堂出版株式会社

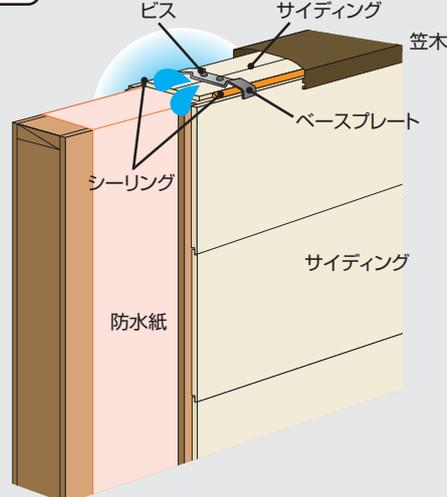
ベランダ笠木 施工例

雨漏り例 ×



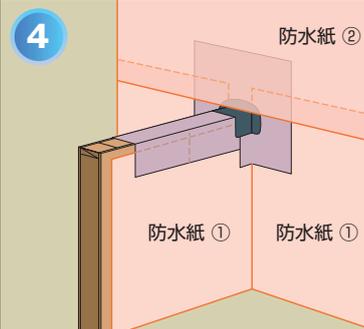
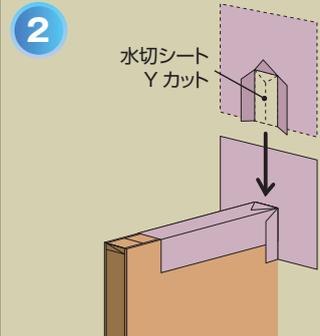
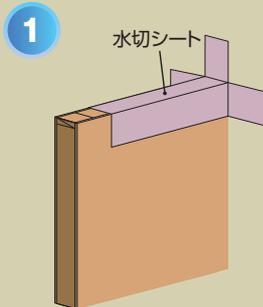
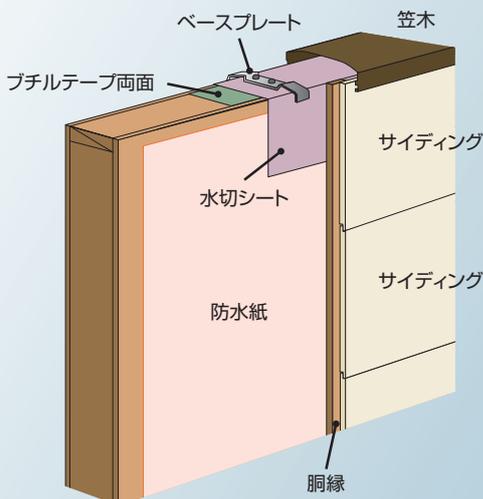
❗ 釘穴まわりの止水性が不足

雨漏り例 ×



❗ 通気ができない納り

推奨例 ○



外壁と屋根の取合い部には、 細部にわたる注意と細心の配慮を。



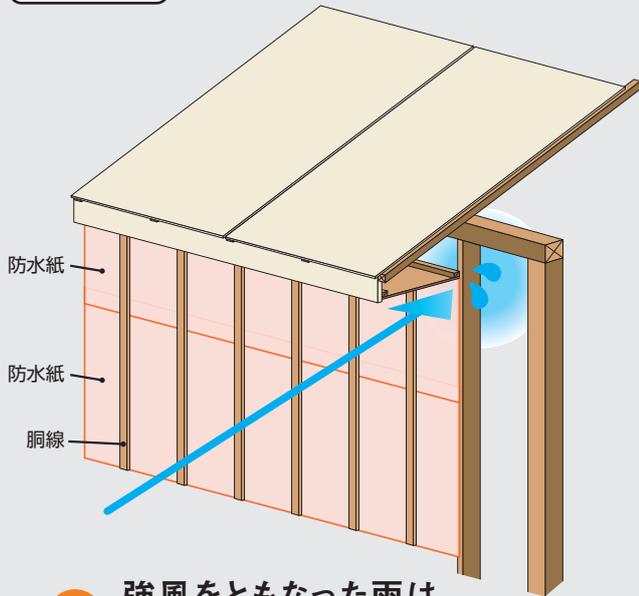
屋根・外壁 取合い部の雨仕舞

住宅の外壁は、デザインなどの都合上、様々な材料を組み合わせたり、他の部位との取り合いが多く、施工も複雑です。このような外壁に、強風をともなった雨が長時間吹き付けると、開口部や付桁部の取合い部などの隙間から雨が浸入してきます。特に、壁と屋根軒先の取合い部には十分な配慮が必要です。これらの雨漏りを防ぐには、適切な材料と適正な施工が大切であることはいうまでもありません。



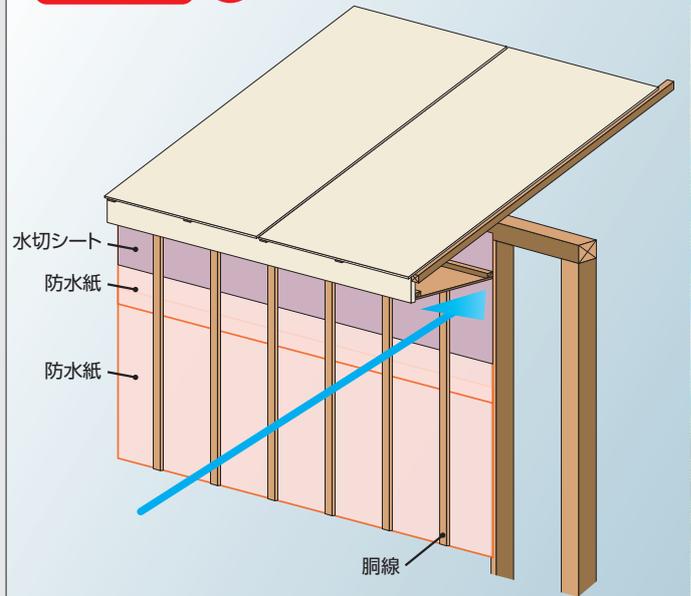
屋根・外壁 施工例

雨漏り例 ×



❗ 強風をともなった雨は、
屋根と壁の間から入る

推奨例 ○



パイプまわり施工例

<p>1</p> <p>粘着面 ノービルテープ</p> <p>半分に折ったノービルテープをパイプの下部に巻き付けます。</p>	<p>2</p> <p>伸ばしながら壁面に貼り付け、転圧ローラなどでしっかりと密着させます。</p>	<p>3</p> <p>同様に上部を施工します。</p>	<p>4</p> <p>段差をしっかり転圧し、隙間をつぶしてください。</p>
---	--	------------------------------	---

雨仕舞材一覧表



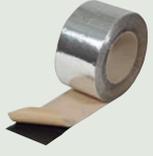
品名・製品		使用部位・規格			
防水シート	水切シート JWMA規格「先張り防水シート及び鞍掛けシート」JWMA-AO1適合品 (品質は自社試験)		高品質の改質アスファルトを使用 サッシ枠下・手摺壁の天端・軒天まわりの増張りに		
			水切シート300	300mm×20m	4巻/箱
			水切シート500	500mm×20m	1巻
			水切シート1000	1m×20m	1巻
防水シート	先張り防水シート JWMA規格「先張り防水シート及び鞍掛けシート」JWMA-AO1適合品 (品質は自社試験)		改質アスファルトを使用 サッシ枠下・手摺壁の天端・軒天まわりの増張りに		
			先張り防水シート300	300mm×20m	4巻/箱
			先張り防水シート500	500mm×20m	1巻

JWMA規格「先張り防水シート及び鞍掛けシート」JWMA-AO1

試験項目		規定	
1巻の長さ m		受渡当事者間の協定による	
製品の幅 mm			
製品の単位面積質量 g/m ²			
基材の単位面積質量 g/m ²			
改質アスファルトの単位面積質量 g/m ²			
引張強さ N/cm	無処理	長手方向	40以上
		幅方向	20以上
	加熱処理後	長手方向	無処理試験値の80%以上
		幅方向	無処理試験値の80%以上
引裂強さ N	長手方向	7以上	
	幅方向	7以上	
ステープル穴シーリング性		試験体10個中8個以上漏水が無いこと	
耐折り曲げ性(長手方向)	無処理	試験片10個中9個以上に表面の亀裂や改質アスファルト層の破断が生じないこと	
	加熱処理後		
寸法安定性 %	長手方向	0±1.0	
	幅方向	0±1.0	
耐熱性		被覆物のずれ落ち、発泡、浸透している改質アスファルト等のしみ出しなどが生じないこと	
防水性		試験片を通して試験片裏面に漏水しないこと	

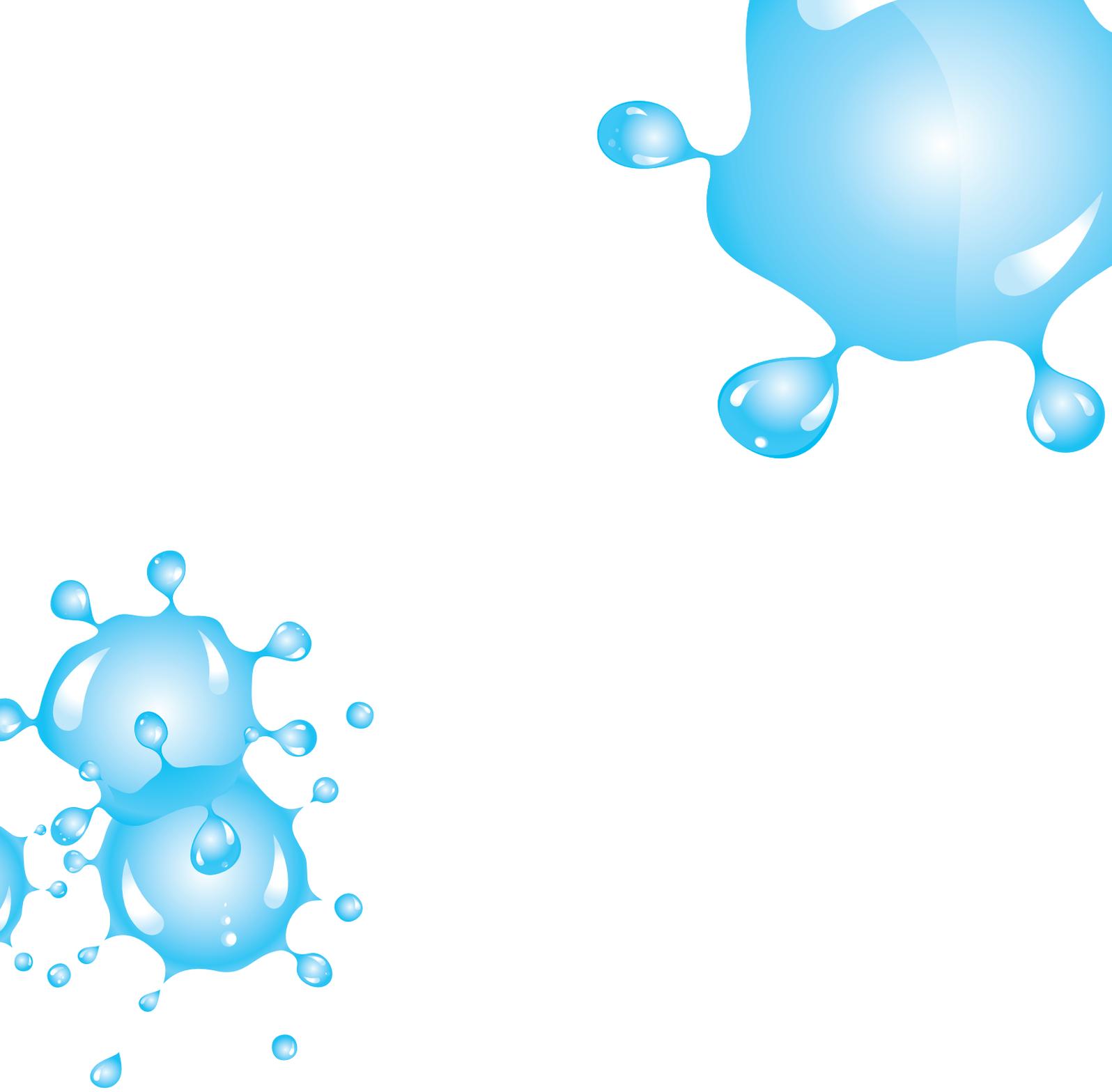
品名・製品		使用部位・規格			
ブチルゴム系	ブチルテープ 	片面・両面粘着 サッシなどの窓まわり用			
		0.5mm	30mm×20m	40巻/箱	
			50mm×20m	24巻/箱	
			75mm×20m	16巻/箱	
			100mm×20m	12巻/箱	
ブチルゴム系	サイディングテープ 	両面粘着 外壁用透湿防水シートの貼り重ね部分などに			
		0.5mm	75mm×20m	16巻/箱	
			100mm×20m	12巻/箱	
伸張性防水テープ	ノービルテープ 	片面粘着 伸張性あり 開口部・貫通パイプまわりなどに			
		1.5mm	カット100	100mm×200mm	200枚、50枚/箱
			カット200	200mm×200mm	100枚、50枚/箱
			ロール100	100mm× 10m	4巻/箱
			ロール200	200mm× 5m	4巻/箱



品名・製品		使用部位・規格		
改質アスファルト系・防水テープ	ハイテープM 	片面粘着 1階・2階の根太まわりなどに		
		M-50	50mm×20m	24巻/箱
		M-75	75mm×20m	16巻/箱
		M-100	100mm×20m	12巻/箱
		M-150	150mm×20m	8巻/箱
		M-160	160mm×20m	8巻/箱
		M-200	200mm×20m	6巻/箱
ハイテープD		片面粘着 付け梁、棟・谷などに		
		D-100	100mm×10.5m	12巻/箱
		D-235	235mm×10.5m	6巻/箱
		D-250	250mm×10.5m	4巻/箱
ハイテープAL		片面粘着 瓦棒(部分)防水処理などに		
		AL-50	50mm×20m	24巻/箱
		AL-75	75mm×20m	16巻/箱
		AL-100	100mm×20m	12巻/箱
ハイテープB		両面粘着 サッシまわりなどに		
		B-50	50mm×20m	12巻/箱
		B-75	75mm×20m	8巻/箱
		B-100	100mm×20m	6巻/箱

●施工道具

品名・製品		使用部位・規格
圧着プレート 	防水テープ施工時に使用する圧着工具 <small>※実用新案登録第3182977号 株式会社JBサポート</small>	



田島ルーフィング株式会社

東 京：〒101-8575 東京都千代田区岩本町 3-11-13 TEL 03-5821-7713
大 阪：〒550-0003 大阪府大阪市西区京町堀 1-10-5 TEL 06-6443-0431
札 幌：〒060-0042 札幌市中央区大通西 6-2-6 TEL 011-221-4014
仙 台：〒980-0021 仙台市青葉区中央 1-6-35 TEL 022-261-3628

